



発行所 (一社)東京都造園緑化業協会 東京都渋谷区神南1-20-11 電話 (03)3462-2858 http://www.tmla.or.jp 編集/広報委員会

- 《228号の主な内容》
【2面】インボイス制度、緑窓 関東大震災100年と緑
【3面】造園雑感、緑化白書の発行 全国都市緑化仙台フェア インクルーシブな公園
【4面】東京みどり探訪(32) 事務局の動き 他

令和5年度 定期総会開催

令和4年度の事業報告、収支決算が承認される

5月26日、渋谷区立勤労福祉会館第一洋室で、令和5年度定期総会を開催しました。会場に参加した29社、書面表決は38社でした。村尾会長は挨拶の後、議長に卯之原理事長を、議事録署名人に青柳義昭氏と齋藤 悟氏を選出し、議事を進めました。

第1号議案「令和4年度事業報告(案)」については、新型コロナウイルス感染防止のため中止した事業もありましたが、概ね計画通り実施しました。本年6月発行の「東京都緑化白書PART4」では特集「ツリクリイミング」技術を活用した「樹木管理」を組むため、発注者、受注者、専門家による座談会を3月に開催しました(P3に詳細掲載)。関東甲信造園建設業協会協議会とは3年ぶりに群馬県前橋市でリアル開催し、3つ



令和5年度定期総会の様子

の分科会に分かれて議論し、その後、視察、懇親会を行いました。研修会・講習会では、刈払機やチェーンソーの安全衛生教育研修会、造園業務安全講習会、造園植物材料研修会、施設見学会では2020東京オリンピックの舞台となった国立競技場の数々の記憶が蘇りました。同時に訪ねた赤坂迎賓館では国の賓客をもてなす建物の絢爛さに圧倒されました。日比谷公園ガーデニングショーも久々の現地開催で、造園マーカーに用意した花卉・観葉植物、園芸資材も完了しました。防災対策では東京都の総合防災訓練や公園協会の震災対策訓練に参加しました。国や東京都に対する要望活動、公園緑地部や公園協会との意見交換会も予定どおり実施し、入札契約制度に関する東京都財務局との意見交換会も実施しました。その結果、街路樹剪定委託で現場に配置する街路樹剪定士について、建設局では23年度から「直接的かつ恒常的に雇用する者」に限定するよう改善されました。また、造園技術・技能が求められる業務「133樹木・緑地等保護」でも草刈りや清掃と同様に「110道路・公園等管理」で発注されている問題に関しては、区別を明確にした適切な発注に向け、財務局などから改善に向けた回答を得ました。剪定枝

見交換会も実施しました。その結果、街路樹剪定委託で現場に配置する街路樹剪定士について、建設局では23年度から「直接的かつ恒常的に雇用する者」に限定するよう改善されました。また、造園技術・技能が求められる業務「133樹木・緑地等保護」でも草刈りや清掃と同様に「110道路・公園等管理」で発注されている問題に関しては、区別を明確にした適切な発注に向け、財務局などから改善に向けた回答を得ました。剪定枝

第2号議案「令和4年度収支決算(案)」では、参議院選挙の実施等に伴う渉外費などの増、会長就任に伴う役員報酬の増などもありましたが、結果としては、令和4年度の経常収益は2578万6245円、経常費用は2432万2446円で、令和4年度の当期正味財産増減額は146万3799円、税引後では139万3799円のプラスになっています。監査報告で松本監事から「適正に処理されている」との報告があり、第1号議案、第2号議案とも提案通り承認されました。また、第3号議案「監事の変更(案)」では、松本監事が辞任され、新たに田中監事(東急グリーンシステム(株)取締役社長)の就任が決まりました。議案第4号議案「令和5年度の借入金限度額について」と第5号議案「総会議決事項の委任について」も同様に承認されました。

報告事項では、理事会議決事項である令和5年度の東京「戦略」に基づき、都立公園の整備も含めて、あらゆる機会を通じて緑の量的な底上げと質の向上を図り、都内全体の緑を増やす取組を進めています。さらに令和4年12月には「TOKYO強靱化プロジェクト」を策定し、震災に加え、風水害、島しょや富士山の火山噴火、電力・通信等の途絶、感染症という5つの危機とその複合災害への対策に取り組むこととしました。また、令和5年4月には「東京都生物多様性地域戦略」が策定され、みどりの確保と適切な保全管理が行われる「生物多様性バリエーションアップエリア」1万haを、行政として都市公園等により確保することを打ち出しました。

今後、こうした課題への対応も含め、公園審議会答申を踏まえて「都立公園マネジメントマスタープラン」をとりまとめたいと考えています。そして、これまでも様々な役割を担ってきた都立公園の個性をさらに引き出し、都民に親しまれ、共感される特色ある公園づくりを目指していきます。東京都造園緑化業協会会員の皆様の一層のご支援をよろしくお願い申し上げます。

都市公園制度制定150周年・都立公園開園150周年にあたり

東京都 建設局 公園緑地部 公園計画担当部長 根来 千秋



今年、日本の都市公園制度の始まりである「明治6年太政官第16号」公布から150周年となります。そして、今年10月、最初の都立公園である上野恩賜公園と芝公園が開園150周年を迎えます。東京都では、これまでの都立公園の歴史や役割を振り返りながら、公園の意義や必要性を都民の皆さんに理解していただくことも、将来に向けた公園のあり方を提案・発信していくことで都立公園の更なる発展を

図るため、国や関係者と連携しながら「東京都都市公園制度制定150周年記念事業」を行うこととしました。都立公園の管理運営に携わっている各指定管理者と実行委員会を設置し、昨年12月の駒沢オリンピック公園キックオフイベントを皮切りに、来年3月まで様々なイベント等を実施していきます。現在、多くの都立公園に足を運んでいただけるよう、全公園を対象にした「公園めぐりデジタルスタンプラリー」や、こどもたちが「行ってみたい将来の都立公園」を描く絵画コンクールを実施しています。このほか、各公園の指定管理者による企画や記念事業の趣旨にご賛同いただいたイベント等も順次、実施していきます。東京都造園緑化業協会会員の皆様におかれましても、ぜひとも企画の実施や参加を通じて、共に150周年を祝っていただきたいと思えます。

また、この節目の年である今年度は、都立公園の整備と管理の基本方針となる「都立公園マネジメントマスタープラン」の改定を予定しています。令和3年3月に策定した「東京都では、令和3年3月に策定した『未

年度事業計画、同収支予算について報告し、全て了解をいただきました(内容は「東京と緑227号」に掲載済み)。令和5年度事業の内容については本誌227号に掲載しましたが、関東甲信造園建設業協会協議会を9年振り東京都が開催県となって開催することや、当協会が令和7年5月に設立50周年を迎えることから記念事業を計画します。総会後には場所を移して懇親会が行われました。最初に主催者を代表して当協会から卯之原理事長、日造協東京都支部から成家岳支部長が挨拶し、その後、来賓の大道東部公園緑地事務所長から「都市公園制度制定150年、関東大震災100年の節目の年。一層の公園緑地の拡充に努めていく」、矢野俊樹公園協会理事長から「住民の安心・安全確保のために防災訓練など緊密な連携をお願いしたい」、和田新也日造協会長からは「コロナ禍で緑の価値が見直されているが、厳しい労働環境もあり、造園団体の連携、協力が必要」との挨拶をいただきました。

新任監事ご挨拶

監事 田中 徹夫 (東急グリーンシステム(株)取締役社長)



5月26日付総会で監事を仰せつかりました田中と申します。私は、山梨の地で山々に囲まれて育ちましたので、緑は常に身近な存在でした。後に上京し人が自然と一緒に生きていくという可能性を感じました。「癒し」という言葉だけでは語れない緑の力、私達の活動で都内各所に、この緑が広がる、そのお役に立てるなら、この上ない幸せでございます。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

連載 振り返るあの時 造園緑化業協会設立50年②

全国都市緑化フェア 東京開催

全国都市緑化フェアの東京での開催は、第1回の大阪府に続き、昭和59年10月5日より37日間にわたり開催され、延べ600万人近い入場者を数えました。開会式では、鈴木元都知事の挨拶後、中曽根元総理が祝辞を述べました。昭和59年は「緑の倍增推進計画」2年であり、「つくりかえ」緑のふるさと東京」というフェアのテーマから、当協会も実行委員会に参画しました。会場は、日比谷公園をメイン会場とする3ヶ所の都立公園を使用している分散型フェアでした。その中で、これ以降のフェアの中核事業になる協会出展の花壇及び協会員による花壇コンクール、ミニ庭園展が、日比谷公園大芝生と上野公園の2会場の約30区画に出展され、来園者30000人によるコンクール投票も行われました。



吉村金男氏監修「真・行・草」の庭(写真は「行・平庭」)

このように水と緑に包まれた美しい環境のある先進都市東京を世界に発信していく上で、フェアは大変重要な役割を果たしました。



緑窓

◆好きを仕事に、女性から見た造園の職場◆

祖父も父も造園を仕事にしていたので、子供の頃から身近に造園という仕事を目にしてきましたが、その頃は現場で働く女性を目にするのはありませんでした。それから何十年か経った今、女性の姿を目にするのが珍しくなくなり、また男性が多い職場であることは間違いなく、女性として現場で働くには

一定の挑戦があると思います。私の現在の職務は、総務・経理・労務などで、現場で働いてはいないものの、電話の応対一つにしても、契約書作成においても造園知識を必要とし、また、建設業は多くの分野に分類されているので、造園という多種多様な業種を区別するのにも、造園知識を活かした判断の必要性があります。職務が違っても、造園を学び、同じ職場として、現場の声を傾け共感し、環境を整えることで女性として現場で働くことに挑戦している一助になればと思っています。今回のテーマ、女性から見た造園の職場ですが、造園という仕事は多岐にわたる幅広く、技術と知識を常に蓄積し、経験がモノ言う職場であるうえ、肉体的な労働の厳しさや出産育児と

の両立など女性特有の課題があり、不安になる事もあるかと思えます。私自身、まだ子育て折り返し地点にいますし、子供が小さい頃は仕事から離れ、毎日朝夕と公園に通い、連れて帰るのに悪戦苦闘しながら、近所中の公園を渡り歩いていました。しかしながら今思い起こせば、仕事から離れていても、こんな遊具もつとあったらいいな、ベンチの下の木陰が少なすぎるといったなど毎日身近に造園の世界と関わってしまっているから、女性特有の課題に挑戦しながらも、仕事の糧となり女性らしさを活かすことのできる職場ではないでしょうか。私は、縁あってこの仕事に従事することになりましたが、子供の頃から花と緑が大好きで、好きを仕事にしています。これからも仕事を好きになるために、たくさん考え学んでいきたいと思っています。

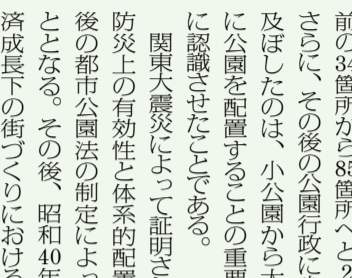
（株式会社桂造園 南典子）

関東大震災100年と緑 公益財団法人東京都慰霊協会 理事長 住吉 泰男

今年、令和5（2023）年9月1日は、関東一円で10万5千人が犠牲となった未曾有の大災害、関東大震災から100年の節目の日である。この地震による火災により、当時の東京市の43・6%、約34・7km²が焼失したが、多くの避難者を受け入れた、火災の延焼を食い止めたのは、上野公園や宮城の広場、芝公園・清澄庭園等の公園や庭園、緑地である。

震災後、公園や緑地の防災上の重要性が人々に認識され、復興計画においても東京市案では、大小公園緑地を「緑のネットワーク」として重点的に整備する計画が立案された。しかし、帝都復興協議会で復興予算自体が東京市案の3分の1近くに削減される中、国の公園関係予算は10分の1以下に削減されてしまった。それでも総額2500万円ほどの事業費が確保され、当時としては破格の金額であったことは確かである。

現在の東京都心の街路、河川、橋梁、公園等の都市基盤の骨格は、関東大震災後の復興計画に基づき整備されたものが殆どである。関東大震災が今の東京を創ったと言っても過言ではない。震災後の復興計画で整備された公園は、大公園として隅田、錦糸、浜



東京都慰霊堂

町の3公園、小公園としては、よく知られている学校に隣接して造られた52の防災小公園である。公園の箇所数としては震災前の34箇所から85箇所へと2・5倍になった。さらに、その後の公園行政に少なからず影響を及ぼしたのは、小公園から大公園まで体系的に公園を配置することの重要性を多くの人が認識させたことである。



東京都慰霊堂

写真、図表等で紹介、解説している場所、それが都立横網町公園の中にある復興記念館である。西国駅から徒歩10分、関東大震災と太平洋戦争時の東京空襲の犠牲者合せて16万3千体を祀る東京都慰霊堂もここにある。毎年3月と9月に犠牲者を弔う慰霊大法要が、皇族の御臨席のもと厳かに執り行われている。（写真）

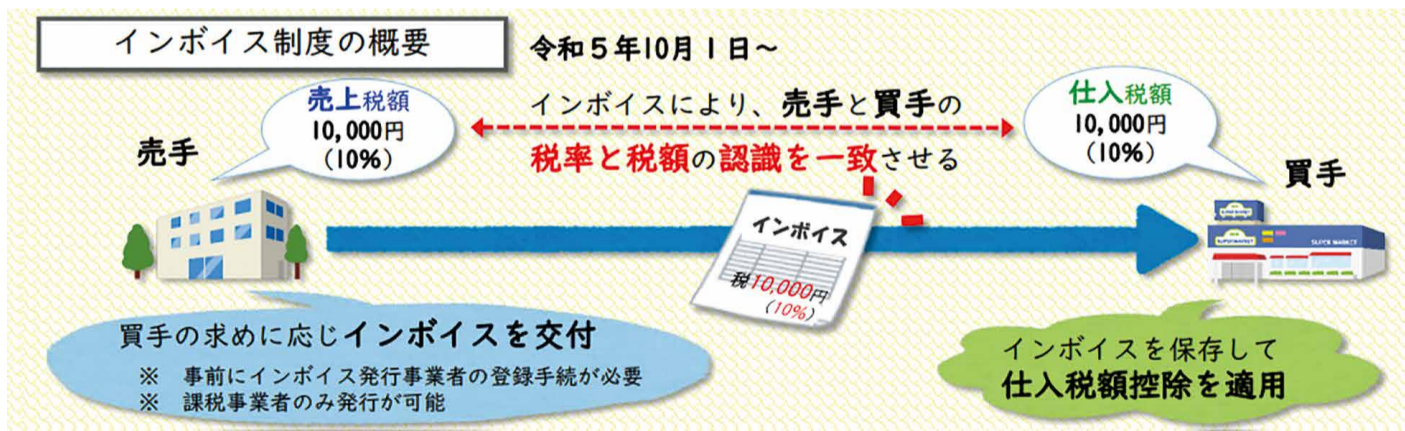
インボイス制度が与える影響は

長引いた新型コロナウイルスの影響もあり、資材や物品をはじめ、あらゆる物が高騰している令和5年。来年には働き方改革関連法案の施行により、罰則付き時間外労働の上限規制、時間外割増賃金率の引き上げ、同一労働同一賃金等など、いわゆる建設業2024年問題への対応が迫られる中、悩ましい税制改正なのが、導入まであと3ヶ月に迫ったインボイス制度だ。

既に適格請求書発行事業者登録は、2021年10月から開始されているので、事業者登録等、事務手続きを準備済みの会員企業も多いと思うが、登録がまだの企業でも、令和5年度税制改正の申請期間が延長されたため、令和5年9月30日までに申請すれば、10月1日施行の適格請求書発行事業者登録に間に合う。しかし、登録だけではなく、業務の見直し、経理システムの対応など、事務的な負担は増す傾向にある。何より懸念されるのは協力業者との関係で、今後、年間売上が1千万円以下の免税事業者であった個人事業主（一人親方）や零細事業者あるいはこういった免税事業者を協力業者を持つ元請業者には、大きな影響を与える改正となる。今号では、インボイス制度が造園業界に与える影響に焦点を当て、今後の対応等について考えてみたい。

請求書はどう変わる

インボイス制度自体は既に周知のことだと察するが、概要は次の図のとおり。



元請業者に与える影響

インボイスは課税事業者に発行する制度なので、課税事業者である元請業者が免税事業者の協力業者へ発注する場合は、元請業者の税負担が増すことになる。例えば、免税事業者に100万円の仕事を発注した場合、今までは、直接工事費100万円＋消費税10万円＝110万円となるが、税額控除で10万円は納税予定の消費税額から控除対象となるので、100万円が実質の発注額になる。それが、インボイス制度導入後、免税事業者に発注した場合、インボイスが発行できず、税額控除できないため、10万円の支出が増える。要は免税事業者（協力業者）と取引する元請業者の税負担が増えるということになる。このことから今までお付き合いがあった協力業者や一人親方への発注を考え直さざるおえないケースも増えるだろう。

協力業者に与える影響

インボイス制度導入後、協力業者は元請業者から仕事を発注してもらえないことが予想される。では、課税事業者になれば良いではないかと、原則課税や簡易課税の選択、事務負担等を考慮すると簡単に判断できない実情もあるだろう。

高い技術力を有する協力業者や一人親方であっても、元請業者からすれば税負担は背に腹は代えられず、発注できない、あるいは値切りされて請け負わせない等々の状況が横行すれば、深刻な問題となるし、廃業を検討する協力業者も出てくるだろう。

ただでさえ、慢性的な人手不足や高齢化が進む業界にあって、いかにして優秀な人材や協力業者を確保していくか・・・。インボイス制度をはじめ、差し迫った制度改正がさらに業界離れに拍車をかけることにならないよう願いたい。

制度導入の背景

消費税の軽減税率が導入されて以降、仕入税額に8%と10%が混在する中で、正確な消費税額と消費税額を把握し、正しい納税額を計算する目的で導入される・・・とはまっとうな説明だが、いわゆる「益税」対策だろう。元来、課税事業者は受け取った消費税を納める義務が発生するが、免税事業者は納める義務がないため、請け負った仕事で預かり消費税が手元に残る「益税」が発生する。もちろんこれは合法的に生じる「現象」だが、以前から問題視されていたこの「益税」を解消し、売手と買手の双方に正確な消費税額を把握させ、転嫁、申告、納付させることが背景にあるのではないだろうか。

東村山の花菖蒲



梅雨の季節に咲く花というごみなさんどのような植物を思い浮かべますか？

造園業をやっているとアジサイなどがよく目につくことがありますが、今回は花菖蒲という植物のお話をしたいと思います。当社では東京都東村山市にあります「北山公園菖蒲苑」の管理に10年来携わっております。北山公園は狭山丘陵をバックに豊かな自然が広がる公園で、「新東京百景」に選ばれています。毎年6月には「東村山菖蒲まつり」が開催され、市内外から多くの方が訪れます。菖蒲というと一般的に5月の

造園雑感

端午の節句で菖蒲湯に入れる葉を想像する方も多いかもしれませんが、花菖蒲は全くの別物。日本の野山に自生するノハシショウブ(原種)を江戸時代から改良された日本の伝統的な園芸植物です。比較的丈夫な植物ではありますが、除草、施肥、花がら摘み、株分け、葉刈りなど年間通じての生育管理はとても努力がかりです。

花菖蒲は日本の自然と文化の中から生まれたもので、育成された地域によって花形や趣が異なります。その中で江戸時代から大正時代にかけて東京地方で育成された品種群を江戸古花といいますが、育成から長い年月が経っています。現在も僅かながら残っており、当時の風潮や文化が花に現れ、粋な花が多く見られます。感性豊かな古い時代の人たちに選り抜かれてきた江戸古花の花々はまさに文化財です。しかし、これらの品種は栽培が少なくなり、見る機会も減ってきています。今では、現代的で新しい花が好まれるようになり、取って代わられてしまっているからです。絶えないよう栽培する古花に對

して、丈夫で育てやすく豪華な新花は現代のニーズにはあっているのかもしれませんが、古くから大切に守られてきた花々がなくなっていくことはとても残念です。そのため、北山公園では江戸古花の栽培・保存に努めています。

現在の造園業でも同じようなことが起きています。お庭や木を大切にしている昔の考えは消えつつあり、施主さんの世代が変われば、掃除や管理が大変だから、木はいらないので伐採してほしいという依頼が増えています。本来、造園業はお客様や利用する方に快適性や楽しみ、喜びなどを提供するものであると思います。また、その中には伝統的な技術も含まれています。それが現在の造園の仕事では薄れてきているのかもしれない。担い手不足もあり、若年層の方にも関心・興味をもってもらえる取り組みをしていかないと感じています。

植物の栽培管理に携わると、植物を大切にすることが生まれ、感性豊かな人間になれると思います。造園業も花菖蒲も日本人に馴染み深いものであり、これからも発展・継承させていきたい日本の文化です。それらを後世に伝えていく一員になればと思います。

有限会社光緑園 川合宏治

第40回 全国都市緑化仙台フェア 未来の杜せんだい2023



残月亭がみどころ

室を仙台市博物館から移設した

達家ゆかりの茶室を仙台市博物館から移設した

迎えられ旅のスタートです。

そして、メイン会場では、伊達家ゆかりの茶室を仙台市博物館から移設した

(一社) 日本造園建設業協会東京都支部、東京都造園建設業協会、(一社) 東京都造園緑化業協会の3団体合同で開催された「第40回全国都市緑化仙台フェア 未来の杜せんだい2023」の研修会に6月2日〜6月3日にかけて参加してまいりました。

仙台駅に到着し、土産物を横目に駅を出ると、ペDESTリアンデッキから眺める仙台市内の美しいケヤキ並木や、フェアの為に設置された花壇の草花に迎えられ旅のスタートです。

そして、メイン会場では、伊達家ゆかりの茶室を仙台市博物館から移設した

程は蔵王の御釜見学…のはずでしたが、生憎の

1000段の階段を登りきることが出来ました。

一望できる「五大堂」などを観覧しながら、約

まれ、芭蕉を偲んだ「せみ塚」や麓の景色を

へ。初夏の暑さが嘘のような清涼な空気に包

日付は変わって、2日目は山形県の立石寺

ました。

ながら参加者の皆様と懇親を深めさせて頂

を堪能し、懇親会では東北の御馳走に舌鼓を打

る「ホテルニュー水戸屋」では、宿自慢の温泉

子を見ることが出来ました。また、宿泊先であ

雨に光って生き活きとする木々や草花の緑が様

えのある展覧作品を(一社) 日本造園建設業協

会宮城県支部の石手様に案内いただきました。

雨の中での会場見学となりましたが、むしろ

雨に光って生き活きとする木々や草花の緑が様

子を見ることが出来ました。また、宿泊先であ

る「ホテルニュー水戸屋」では、宿自慢の温泉

を堪能し、懇親会では東北の御馳走に舌鼓を打

ちながら参加者の皆様と懇親を深めさせて頂

きました。

る「もりの庭園」や仙台の伝統的な屋敷林で

ある居久根をモチーフに現代的な庭木や草花に

彩られた「杜のリビングガーデン」、仙台七夕ま

つりと伊達家の陣羽織をイメージした色とりど

りの花々が植え付けられた大花壇「はなばた飾

り」など、各出展者の工夫が凝らされた見ごた

えのある展覧作品を(一社) 日本造園建設業協

会宮城県支部の石手様に案内いただきました。

雨の中での会場見学となりましたが、むしろ

雨に光って生き活きとする木々や草花の緑が様

子を見ることが出来ました。また、宿泊先であ

る「ホテルニュー水戸屋」では、宿自慢の温泉

を堪能し、懇親会では東北の御馳走に舌鼓を打

ちながら参加者の皆様と懇親を深めさせて頂

きました。

天候で視界ゼロ状

態！自然の気まぐ

れさには為す術な

く、いつの日か再

チャレンジを誓っ

て、充実した旅

の帰路につつま

ました。

本研修におかれ

ましては、ご準備

を頂きました(一

社) 日本造園建設

業協会東京都支部

事業委員・事務局

の皆様、ご案内頂

きました(一社)

日本造園建設業協

会宮城県支部 石

手様、そして参加

者の皆様、この

場をお借りしまし

て御礼申し上げます。

天候で視界ゼロ状

態！自然の気まぐ

れさには為す術な

く、いつの日か再

チャレンジを誓っ

て、充実した旅

の帰路につつま

ました。

本研修におかれ

ましては、ご準備

を頂きました(一

社) 日本造園建設

業協会東京都支部

事業委員・事務局

の皆様、ご案内頂

きました(一社)

日本造園建設業協

会宮城県支部 石

手様、そして参加

者の皆様、この

場をお借りしまし

て御礼申し上げます。



「インクルーシブな公園」って何？

最近、カタカナ言葉が多用されていますが、今回は「インクルーシブな公園」について概説します。「インクルーシブ」とは「包摂的」という意味で、誰も排除されず、皆が社会に参画する機会を持つことです。ですから「インクルーシブな公園」とは、障害の有無や国籍、性別等に関係なく誰でも楽しめる公園のことを言います。米国では1990年代からどんな人も遊べる遊具や環境が整った公園の整備が進んでいます。令和2年3月都立砧公園に、都立公園では初となるインクルーシブな遊び場「みんなのひろば」が、令和3年10月には府中の森公園において「もり公園にじいろ広場」がオープンしました。これらの広場では、滑り台の上に登る時も、階段だけでなく、スロープやロープネットなど、様々な手段が選択できるようになっています。プランコも、従来の1枚座板だけでなく、背もたれのついたもの、数人で一緒に乗れるものなど多様になっています。東京都建設局では、こうしたインクルーシブ公園の普及に向けて、令和3年4月「だれもが遊べる児童遊具広場」を整備する際のガイドラインを作成しています。



砧公園 みんなの広場



府中の森公園 もり公園にじいろ広場

令和5年度国土交通大臣表彰を受賞

令和5年7月10日、建設事業関係功労者国土交通大臣表彰式が執り行われ、多年造園工事業に精励するとともに関係団体の役員として業界の発展に寄与したとして、当協会会員の2名が受賞されました。おめでとうございます。



(株)柳島寿々喜園 代表取締役 鈴木 義人 様



(株)日比谷アメニス 代表取締役社長 伊藤 幸男 様

東京都緑化白書の発行

「特集」ツリークライミング®技術を活用した樹木管理」

「東京都緑化白書」は、都内自治体における公園や街路樹等の整備・維持管理、公園用地の取得等に関する状況等を経年的に把握するため、自治体へのアンケート調査をもとにとりまとめています。今年度の緑化白書は、さらに特集として「ツリークライミング®技術を活用した樹木管理」をとりあげました。昨今、公園樹木や街路樹は高木化・高齢化しており、こうした樹木を本来の美しい樹形を維持しながら維持管理していく手法として、ツリークライミング®技術が応用されています。しかしこれらの技術は、標準的な造園技術と比べると、また制度面、技術面で確立されていません。そこで今回は、アンケートや有識者による座談会などにより、ツリークライミング®技術を活用した樹木管理を造園の一般的・標準的な技術として確立するための方策について展望しました。座談会には、発注者(会員)、専門家の10名の方々にお集まりいただき、3月22日、造園会館8階で開催しました。主な議事は、①アンケート結果の感想、②ツリークライミング®技術を活用した高所作業の利点、③ツリークライミング®技術による作業を行うにあたっての注意点、④ツリークライミング®技術を樹木管理の一般的な工法にするための課題、⑤全体を通しての意見交換です。

これらアンケート結果や座談会を通して言えるのは、発注者(自治体等)は、まだ経験も少なく理解も十分に進んでいないこと、受注者は、ツリークライミング®は安全で安心感もあり作業性も良いとの高評価であるものの、造園作業の特殊性である樹上作業を考慮したガイドラインが確立されておらず、作業方法に対する公的機関の認定もなく、万一事故が発生した場合の責任や補償について不安を抱えていること、などが挙げられました。こうしたことから、発注者の認知度と理解を高めることや、発注者と業界が協力・連携して、各種基準づくりを行うことが今後の普及に向けての重要課題であることが分かりました。

こうした課題の解決に向けて、特集のまとめとして、①ツリークライミング®技術の理解を

深めること、②作業方法や安全管理のガイドラインを作成すること、③樹上作業に特化した特別教育を実施すること、④歩掛や単価(施工単価、労務単価)を設定することを挙げました。解をいただきましたが、現時点では国がマニュアルやガイドラインを発売する状況にないようです。国には樹上作業に特化したガイドラインや特別教育の整備に向けて粘り強く働きかけていくとともに、発注者には業界が独自にマニュアルやガイドラインを作り、それに基づいて可能な限りの安全対策を行っているということを理解してもらうことが必要でしょう。



東京みどり探訪 32

“ほどよく田舎、ほどよく都会なまち” 稲城市の公園・緑地 (東京都稲城市)

文・写真:稲城市 都市環境整備部 緑と環境課

稲城市の公園について

令和2年4月1日時点における稲城市の公園・緑地は、施設数130箇所、総面積はおよそ100・8ヘクタールあり、市民一人あたりの公園・緑地面積は11・0㎡（東京都による令和4年4月の市部平均は7・65㎡）です。現在も区画整理事業地内で公園整備が進められており、今後増加が見込まれます。

“水と緑の継承と調和”

私たちは令和3年度に稲城市のみどり率を調べました。稲城市全体のみどり面積は982・2ヘクタールあり、みどり率は54・6%でした。現在も造成中の公園があるため、この数値は今後増加する可能性もあります。

稲城市の緑の骨格は、既成市街地から見ると多摩丘陵の斜面緑地と、谷戸沿いの樹林地、稲城市北部を流れる多摩川から構成されている“緑の環”です。この緑の環を次世代に継承するべく、樹林地や水辺の保全を進めていく方針です。

併せて、公園などのオープンスペースの整備や再整備、既成市街地を流れる三沢川や大丸用水の活用、市街地整備事業における緑の確保を通じて、身近な水と緑の空間と“緑の環”をつなぎ、稲城市を網の目のように包む“水と緑のネットワーク”を形成して、ほどよく田舎、ほどよく都会なまちを整備していきます。

公園のいろいろ

①稲城中央公園

市内最大の面積をもつ総合公園です。公園は都道で二分され、一方には総合体育館と総合グラウンド、そしてもう一方には野球場が設置されています。2021年の東京オリンピックでは、この公園に



稲城中央公園のキンラン



稲城北緑地公園 バーベキューができるピクニック広場

隣接する都道と市道が自転車競技のコースにもなりました。その影響もあってか今では曜日問わずサイクリストが頻繁に往来しており、公園内に設置されたサイクルカフェと記念モニュメントは、公園を越えて周辺地域の新しいランドマークにもなっています。

またこの公園は多摩ニュータウン地区に位置しており、公園の一部は多摩丘陵の地形や雑木林をそのまま生かした整備がされています。往時の里山の面影を今に伝える雑木林にはキンランやギンランをはじめとした山野草が自生しており、観察会なども行われています。

②城山公園

市名“稲城”の由来ともなった3つの城の一つ、大丸城址の近くにある公園です。丘陵地の地形をほぼそのまま生かして整備された公園であり、武蔵野の自然林が多く残っているため、この環境ならではの山野草の手入れやフィールドワークなども行われています。

一方で“一の丸”から“十の丸”までを刻んだ石碑や、モニュメントや門柱のデザインにちょっとした遊びを加えるなど、当時の公園整備に携わった人々の遊び心を感じることができます。

③稲城北緑地公園

多摩川沿いに位置する公園です。複合遊具やテニスコートのほか、バスケットボールやスケートボードができる施設“多摩梨パーク”があります。

公園中央に位置するピクニック広場は、市内2カ所に設置されたバーベキューができる公園施設の一つでもあ

り、春にはサクラ並木でお花見もできます。こうした様々な施設により、週末はいつも人でにぎわいます。

④上谷戸（かさやと）親水公園

谷戸の風景を残しつつ整備された親水公園です。一瞬、ここが東京であることを忘れるような景色があり、小鳥のさえずりや上谷戸川の水のせせらぎを耳にしながら散策できます。

⑤いなぎペアパーク

JR南武線・稲城長沼駅周辺地区の区画整理事業により平成31年に設置された新しい公園です。稲城の名産品である梨（ペア）の名をつけて、周辺施設と共に地域の魅力発信拠点となっています。

公園には稲城市出身のメカデザイナー・大河原邦夫さんがデザインした稲



いなぎペアパーク
緑色のロボット“スコップドッグ”（左◎サンライズ）と
“稲城なしのすけ”（右◎K.Okawara-Jet Inoue）

城市の公式キャラクター、稲城なしのすけ、やスコップドッグのモニュメントが設置されており、SNS等でも話題になっています。

稲城市立公園のこれから

全国で里山が放置され各地で発生していたナラ枯れ病が、令和2年夏、市内公園で初めて発見されました。翌3年に各公園を調査したところ、各所で約1000本発生していることがわかりました。稲城市ではこれまでも公有地と併せて民有地でも伐採や薬剤による対策を推進していますが、令和5年度も引き続き事業継続が必要と考えています。

稲城市の公園は概ね3つに大別されます。一つは既成市街地と言われる、比較的早くから街が開かれた地区に存在する公園。二つめは多摩ニュータウン事業により平成初期に街が開かれた地区にある公園。そして三つめは、市内各所の区画整理事業により新しく設置される公園です。公園に求められる機能や内容は、時代と共に変化しています。地域住民の年齢構成の変化、多種多様な要望や苦情、老朽化していく施設。このような現状から生まれる諸問題は、私たち稲城市に限らず、どの自治体でも避けては通れない問題ではないでしょうか。

造園植物研修会 朝ドラらんまんの牧野記念庭園を訪ねて

7月6日に造園植物研修会を座学と見学の本立てで企画しました。まず練馬区大泉学園の練馬区立勤労福祉会館において、樹木医・森林インストラクターで「街の木ウォッチング」など多数の著書がある岩谷美苗氏を講師に、「木が観る 木を知る 木で笑う」と題して講義いただきました。造園技術者が知っているようで分かっていない植物の基礎知識について、樹木の定点観測の様子を踏まえ、興味深くお話しいただきました。その後、練馬区立牧野記念庭園に徒歩で移動しま



造園植物研修会 朝ドラらんまんの牧野記念庭園を訪ねて

事務局の動き

(令和5年4月1日から令和5年6月30日まで)

「理事会」

- ◆理事會(第1回) 4月27日
- ◆第1号議案 令和4年度事業報告(案) について
- ◆第2号議案 令和4年度収支決算(案) について

「各部署委員会」

- ◆運営委員会(第1回) 4月20日
- ◆令和4年度事業報告(案) について
- ◆令和4年度収支決算(案) について
- ◆総務委員会(第1回) 4月18日
- ◆令和4年度事業報告(案) について
- ◆令和4年度収支決算(案) について
- ◆副委員長の選任について
- ◆事業委員会(第1回) 4月11日
- ◆令和4年度事業報告(案) について
- ◆令和4年度収支決算(案) について

◆広報委員会(第1回) 4月4日

- ◆令和4年度広報委員会事業報告(案) について
- ◆令和4年度広報委員会収支決算(案) について
- ◆令和4年度版東京都緑化白書の特集について

◆広報委員会(第2回) 6月22日

- ◆令和6年度東京都予算及び国家予算要望について
- ◆令和4年度版東京都緑化白書の進捗状況について

◆技術委員会(第1回) 4月13日

- ◆令和4年度技術委員会事業報告(案) について
- ◆令和4年度技術委員会収支決算(案) について
- ◆技術委員の新任について(案) ほか

◆認定枝葉事業特別委員会(第1回) 4月10日

- ◆令和4年度認定枝葉事業特別委員会事業報告(案) について
- ◆令和4年度認定枝葉事業特別委員会収支決算(案) について

日比谷公園 ガーデニングショー2023 が開催されます

今年のテーマは
「しあわせ広がる日比谷の秋」

今年で21回目の開催となる日比谷公園ガーデニングショーは下記の日程で開催が決まりました。

当協会は、例年どおり協賛、出展団体として参加いたします！

ガーデンコンテストの作品展示や花苗配布のほか、キッチンカーなど、お楽しみいただけますので、みなさまお声がけいただき奮ってご来場ください。

また、ガーデンコンテストの募集も始まっていますので、検討されている方は、下記QRコードより特設HPにてご応募ください。

●開催日程
令和5年10月21日(土)～10月29日(日)

●開催場所
都立日比谷公園
※今年の日比谷公園内、開催場所は例年と異なりますのでHPでご確認ください。

日比谷公園ガーデニングショー 2023HP



万全の対策で試験突破！
目指せ！スペシャリスト
各コース募集中！
関連講座一覧
◆1・2級建築施工管理技士 ◆1・2級エクステリアプランナー実地
◆1・2級管工事施工管理技士 ◆給水装置工事主任技術者
◆1級舗装施工管理技術者 ◆CPDS認定講習
資格取得や企業研修など、人材育成についてご提案致します。
日建学院コールセンター 0120-243-229
株式会社建築資料研究社 東京都豊島区池袋2-50-1 受付/AM10:00~PM5:00(土・日は除きます)

事務局からのお知らせ
研修会・講習会等のお知らせや事務局の活動を掲載しています。下記のQRコードを読み取ってアクセスしてください。今後も随時更新します！
ホームページ
フェイスブック
インスタグラム